

星のたより

2024(令和6)年
8月号
Vol. 359

☆今月の豆知識☆
 (土) なんかとえば「夏の
 大三角」と「冬の大三
 角」が有名だね。今の時
 期なら夏の大三角がよく
 見えるけど、8月下旬の
 明け方には、なんと冬の
 大三角が東の空に見える
 んだよ。近くに木星も見
 えてとても賑やかな星空
 だけど、木星が明るすぎ
 て冬の大三角がわかりに
 くいかもね。



「登録博物館」になりました

令和5年4月に博物館法が改正となり、デジタルデータが博物館資料と認められたり、地域の活力の向上に寄与する活動も求められることになりました。これを受けて、さじアストロパークは博物館登録の申請をおこない、7月10日付で登録博物館となったものです。今後は登録博物館として、学術的な活動はもちろん、地域に愛される施設となるよう一層活動していきますので、よろしくお願いいたします。



JAPAN MUSEUM
登録博物館

30周年記念イベントのご案内

- ① 記念講演会 日時：8月18日(日) 13:30～15:30
講師：津田雄一さん(探査機「はやぶさ2」プロジェクトマネージャー)
- ② プラネタリウム30周年記念番組 期間中、2本の番組を上映します
期間：12月1日(日)まで
番組：①宇宙なんちゃら こてつくん プラネタリウム
②プラネタリウムでチョコちゃんに叱られる！2
- ③ 鳥取市さじアストロパークで発見した小惑星への命名 →
募集期間：8月31日(土)まで(右QRコードから)
- ④ 期間展示「鳥取市さじアストロパーク 30年の歩み」
期間：12月1日(日)まで



イベント★耳より情報

☆内容や日程が変更となる場合があります。
 公式ホームページで最新情報をご確認ください

☆期間展示☆ 「鳥取市さじアストロパーク30年の歩み」7月18日(木)～12月1日(日)
 オープン以来30年間に起きた出来事や天文現象などを展示します。

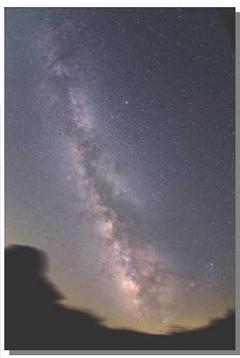
☆プラネタリウム☆ 第1部 専門職員によるライブトーク
 第2部 テーマ番組「30周年記念番組」7月18日(木)～12月1日(日)
 宇宙なんたら こてつくん プラネタリウム
 プラネタリウムでチョコちゃんに叱られる！2

☆夜間観望会☆ ☆8月のテーマとおすすめ情報

こと座のドーナツ星雲	2(金)、3(土)、30(金)、31(土)
こと座の一等星ベガ	9(金)～14(水)
はくちょう座のアルビレオ	16(金)、17(土)
球状星団 M13	23(金)、24(土)
観望会で満天の星が楽しめる	1(木)～10(土)、23(金)～31(土)
観望会で月がよく見える	12(月)～16(金)
宇宙ふしぎ探検「ペルセウス座流星群を見よう」	11(日・祝)～13(火)



M57



☆8月の休館日 5(月)、19(月)、20(火)、26(月)

※イベントの詳細やその他の情報はさじアストロパークのホームページなどを参考にしてください。

プラネタリウム & 天体観察会

～ 「星取県」で昼も夜も星空満喫 ～

1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影、※7/26～8/23の平日は4回投影

前半は専門職員による当日夜の星空生解説、後半はテーマ番組投影の2部構成です。

後半のテーマ番組「30周年記念番組」が始まりました！

おまちかねの30周年記念番組が7月18日から始まりました。日・水・金曜日は「宇宙なんちゃら こてつくん」の投影。火・木・土曜日は「プラネタリウムでチョコちゃんに叱られる2」の投影となります。

30周年記念番組の投影期間は、7月18日(木)から12月1日(日)です。投影される曜日を確認してご来館ください。



© S/02 「チョコちゃんに叱られる！」 © NHK

プラネタリウム・天体観察会
どちらも定員40名で実施中

2. 103cm大型望遠鏡で夜間観望会(天体観察会)

103cm大型望遠鏡を使った「夜間観望会」で、見ごろの天体を観察しています。月明かりの有無や空の状態により、当日の見ごろの天体が異なります。平日及び日曜日のご利用については、個人の方はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は曜日にかかわらず1カ月前までにご予約の上ご利用ください。



8月の注目天体情報

☆ こと座とベガ

「こと座」には一等星「ベガ」が明るく輝いているので探しやすい星座です。ベガは、夏の大三角を形作る3つの星の一つで、その中では一番明るい星です。こと座は、ベガを含んだ小さな三角形と平行四辺形を見つければよいです。こと座は、プトレマイオスの48星座の一つで、かなり古くから豎琴の姿に見られていました。ギリシャ神話で有名なのは、豎琴の名人オルフェウスが使っていた豎琴といわれています。星座を形作る星の四辺形がことの弦の部分になります。

ベガは、七夕のおりひめ星として古くから日本ではなじみの星です。ことの弦の平行四辺形は、おりひめが使っていた機織り機の姿にも見られていたようです。ベガは、25光年のところで輝いていて、一等星の中では比較的近い恒星です。青白く輝いているところから、表面温度は1万度以上の高温の星です。



☆ 惑星状星雲M57 (こと座)

その姿から、ドーナツ星雲とかリング星雲という愛称のある惑星状星雲です。惑星という名がついていますが、その形が惑星のように丸いため、惑星ではありません。この星雲は、星の一生が終わりリング状に物質が広がっている姿です。おりひめ星の近くにあるところから、指輪の姿を想像できそうですが、とても巨大なリングなので、それに見合うおりひめはどんな姿なのか、など想像しながらご覧ください。距離：2150光年



夏のイベント情報

今年、鳥取市さじアストロパークは30周年を迎えました。それを記念して、アストロパークの30年の歩みを一覧にした展示や記念の講演会を行います。また、お盆の頃には恒例のペルセウス座流星群を見ることができます。今回は、夏のイベントをご紹介します。

期間展示 ～鳥取市さじアストロパーク30年のあゆみ～

期間展示 鳥取市さじアストロパーク 30年の歩み

2024(R6)年7月18日(木)～12月1日(日)



7月18日(木)より天文台1階ロビーと2階フロアにて、「鳥取市さじアストロパーク30年のあゆみ」展が行われています。

アストロパークは1994年7月にオープンし、今年で30周年を迎えました。これまでに行ったイベントやさまざまな天文現象などを年ごとに一覧にして展示しています。また、これまで使っていた天文機器やパソコンなども展示しています。人によっては懐かしい、または見たことがない、といったものがあると思います。2階フロアでは、佐治小学校の児童

の作品などが展示されています。(2階の佐治小学校の児童の作品展示は9月1日までとなります)

展示は入館料のみでご覧いただけますので、天文台にぜひお越しください。

30周年記念講演会

日時：2024(R6)年8月18日(日) 13:30～15:30

『星のかけらを持ち帰れ！はやぶさ2の大冒険』
JAXA 宇宙科学研究所教授・はやぶさ2拡張ミッションチーム長・津田雄一(つだ ゆういち)さんをお招きし、「星のかけらを持ち帰れ！はやぶさ2の大冒険」と題してお話をさせていただきます。参加希望のかたは早めにお申し込みください。

講師：津田雄一さん

2024年鳥取市立天文台開館30周年記念講演会
鳥取市立天文台(佐治天文台)にて、2024年8月18日(日)13:30～15:30に、「星のかけらを持ち帰れ！はやぶさ2の大冒険」と題して講演会を行います。講演者は、JAXA宇宙科学研究所教授・はやぶさ2拡張ミッションチーム長・津田雄一(つだ ゆういち)さんをお招きし、「星のかけらを持ち帰れ！はやぶさ2の大冒険」と題してお話をさせていただきます。参加希望のかたは早めにお申し込みください。

主催：鳥取市立天文台(佐治天文台)
参加費：無料(但し、観覧見学・プラネタリウム観覧には別途料金がかかります)
※7月2日(土)18時からおの受付フォームで申し込み開始

8月18日(日)に30周年を記念して講演会を行います。今回講師として、JAXA 宇宙科学研究所教授・はやぶさ2拡張ミッションチーム長・津田雄一(つだ ゆういち)さんをお招きし、「星のかけらを持ち帰れ！はやぶさ2の大冒険」と題してお話をさせていただきます。参加希望のかたは早めにお申し込みください。

日時：8月18日(日) 13:30～15:30

会場：佐治天文台1階会議室

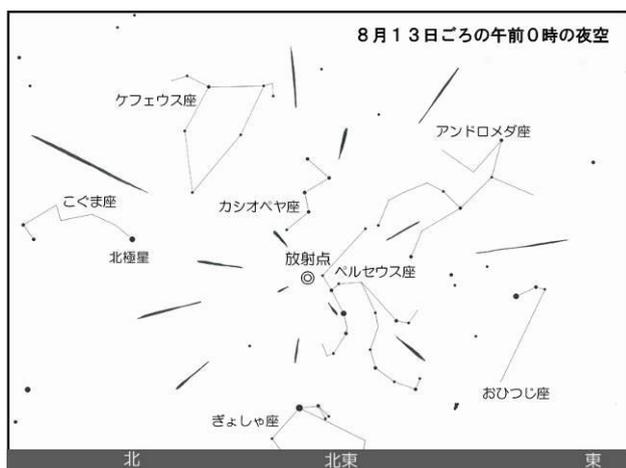
定員：80人

参加費：無料

(但し、展示見学・プラネタリウム観覧には別途料金が必要です)



ペルセウス座流星群



宇宙ふしぎ探検「ペルセウス座流星群を見よう」を行います

日にち：8月11日(日)～13日(火)

時間：各日21:30～23:00

参加費：無料(園地での観察になります)

※佐治天文台へ入館される場合は入館料が、

また、103cm望遠鏡での天体観察会

に参加される場合は観望料金が必要です。

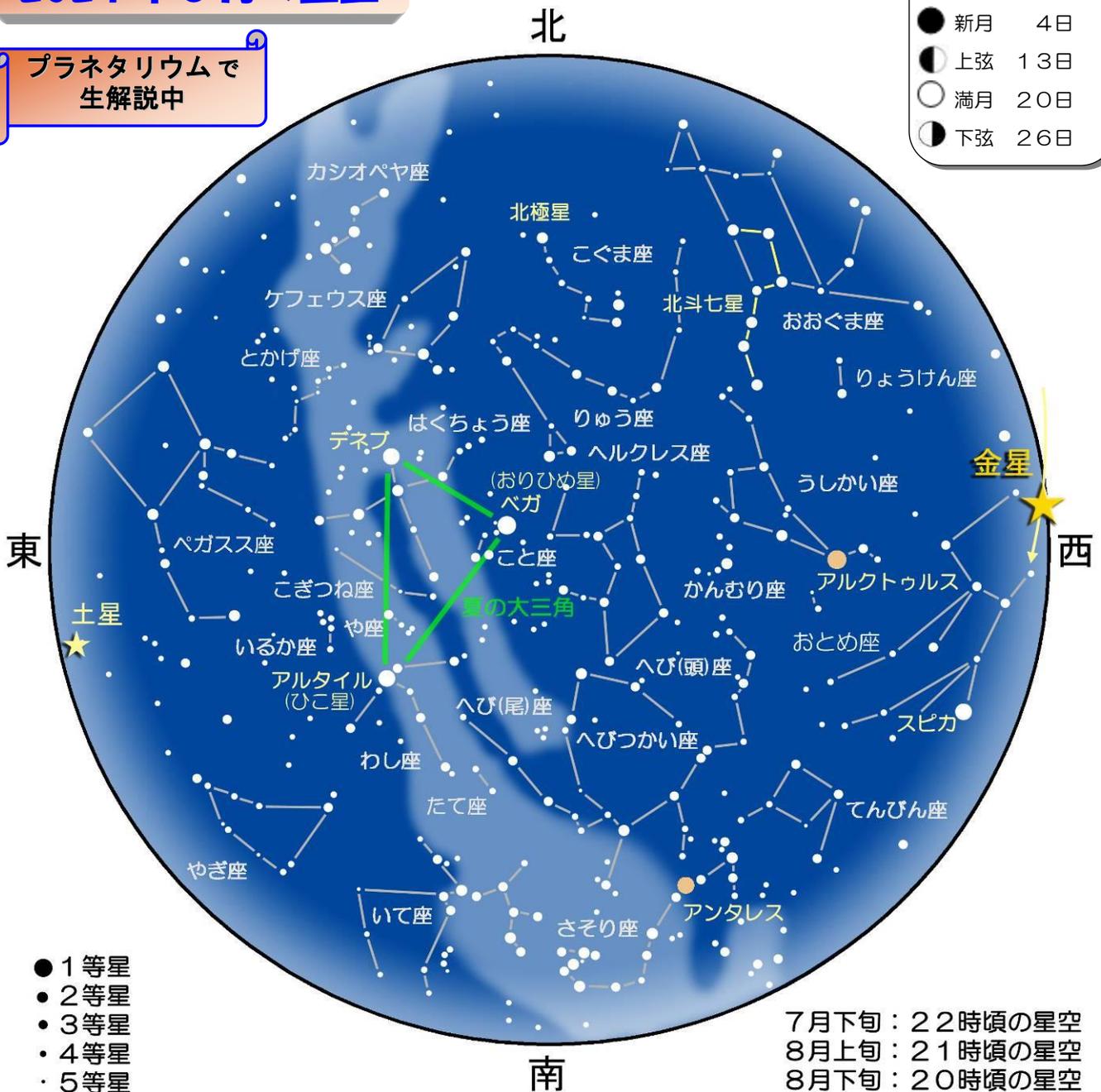
定員：なし

2024年8月の星空

8月の月の暦

- 新月 4日
- ◐ 上弦 13日
- 満月 20日
- ◑ 下弦 26日

プラネタリウムで
生解説中



- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星
- 5等星

7月下旬：22時頃の星空
8月上旬：21時頃の星空
8月下旬：20時頃の星空

☆8月になると梅雨が明けて「夏本番!」。暑さに負けず星空を楽しみましょう。

☆「さそり座」が南の空から少し西寄りに見られるようになりました。南の空低い星座は、西寄りになると沈むのが早くなりますので、早めに見ておきましょう。一等星アンタレスと「釣り針」のような形が目印です。頭の真上近くには「夏の三角形」が見えています。明るい順に3つの星で直角定規のような三角を見つけましょう。頭の真上に近い、一番明るい星が「こと座」の一等星「ベガ」です。ベガは七夕の織姫星、アルタイルが彦星です。今年は8月10日が伝統的七夕(旧暦7月7日)になります。夏の三角形を目印に天の川を見つけてみましょう。東の空には「土星」が見え始めました。9月以降が見ごろになりますが、望遠鏡で見ると細い輪を見ることができます。来年は「土星の輪が消える」現象がありますが、土星が太陽に近いため観察は難しいかもしれません。



さじアストロパーク

検索

プラネタリウムや観望会の時間、休館日、宿泊の予約など詳しい情報についてはホームページ&Facebookでチェック。Youtubeも開設。

鳥取市さじアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1

TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103

e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp